

地域の子どもの心を豊かに 子どもの力で地域を元気に ～ 七北田小学校 ～

仙台市立七北田小学校は、明治時代に創設され、昨年度創立150周年を迎えた歴史のある学校です。市の北部に位置し、学区内には静かな住宅街が広がっています。学校行事には、保護者や地域の方々の参加や協力が盛んで、「地域の学校」として根付いています。

毎朝、地域の方々が交通指導や防犯巡視、ごみ拾いなどをしながら子どもたちに温かい声掛けを行っています。



天気に関わらず笑顔で子どもたちの登校を見守る大友さん



ごみ拾いをしながら子どもたちに声を掛けている大橋さん

「子どもたちの成長に、地域は大きな役割を持っている」と語る大友さん。地域全体が明るくなってほしいと思い、小中学生だけでなく地域の大人にも笑顔で挨拶をしています。

「きれいな環境だと心も落ち着く」と語る大橋さん。「暗い表情で下を向いて歩いている」など、気になる様子が見られる子にも声を掛けるようにし、悩みがある児童が少しでも前向きになればと考えていらっしゃるようです。

このことについて、子どもたちからは「気持ちよく過ごせるためにいろいろなことをしてくれているんだと、ありがたい気持ちになる。」「朝、声を掛けてもらえると元気が出るし、一日頑張れる。下校では、学校の疲れが取れ、ありがたい気持ちになる。」という声が聞かれました。

学校と地域の架け橋と言える「学校支援地域本部」のスーパーバイザーを務める山田さんは、「七北田小学校には、地域の方々がいろいろなところで関わってくれている。学校支援地域本部では、できる限り交流の機会を作り、地域と子どもたちとのつながりを強めたいと考えている。子どもたちが大人になって地域に戻ってきてくれたら本当にうれしい。私たちの思いを、また次の世代につなげてほしい。」と語ります。



(中央) 子どもだけではなく、保護者からも様々な場所で挨拶されてとてもうれしいと語る山田さん
(左) 学校支援地域本部アドバイザー竹山さん (右) 学校運営協議会委員長小林さん

サマー講座※では中学生がボランティアとして参加する姿が見られました。参加した中学生からは「小学生の役に立てることがうれしい」「自分の特技を生かすことができる」「中学生になったらやろうと思っていた。小学生の時、ボランティアをしている中学生に憧れた」という声が聞かれました。小学生のために活躍する中学生の姿は、小学生のお手本となり、引き継がれている様子が伺えました。

※サマー講座：地域の名人や企業が夏休みに行う講座。学校の教室などを使い、数日間に分けて実施され、児童は希望する講座に参加する。



シュノーケリング教室



けん玉教室



フラワーアレンジメント教室

地域の方々からの多くの支援が、子どもたちの心の成長に大きな役割を果たしていることを日々実感している石川校長。地域に感謝の気持ちを伝えようと、毎日、登校時間帯に学区内を徒歩で回り、地域の方々に挨拶をしています(右写真)。「この感謝の気持ちが子どもたちにも伝わり、地域を一層好きになってほしい。地域の方々はますます学校に関わってくれるようになり、好循環が生まれている。」と笑顔で語ります。



毎朝学区内を巡回する石川校長

学校と地域が一丸となって子どもたちを育てている七北田小学校。地域と学校の協働活動は続いています。

※七北田小学校の地域学校協働活動は、このほか数多く行われています

(参考)「ゆめフェス 地域の部」

様々な地域団体の方が、子どもたちが楽しめる体験型ブースを出展。中学生ボランティア、ジュニアリーダーの参加、教職員のバンドによる「地元賛歌」の熱唱もあり、学校、地域が一体となる取組みです。



※関連リンク：
七北田小学校
ホームページ



七北田小学校
学校支援地域本部
ホームページ

